

## 研究協力のお願ひ

この度、本学において下記の内容にて観察研究を行うことになりました。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学

整形外科学教室

### 記

研究課題名：超音波検査を用いた頸椎椎弓形成術後における脊髄の状態評価の研究

研究の意義：頸椎椎弓形成術後の脊髄の状態評価の検査としては、通常、MRIが多く用いられます。しかし、MRIは簡便とは言い難い検査です。一方、超音波検査は侵襲なく、簡便、短時間で施行できる検査です。当院ではこれまでに頸椎椎弓形成術の術後に脊髄の状態を超音波検査にて評価してきました。しかし、超音波検査による術後の脊髄の状態の評価については、これまであまり研究されておらず、超音波検査の有用性は明らかになっていません。また、超音波検査における脊髄の状態と臨床成績との関連性についても明らかになっていません。頸椎椎弓形成術後の脊髄の状態を評価する検査として、超音波検査の有用性を示す事ができれば、有効で簡便な検査方法として確立できます。また、超音波における脊髄の状態と臨床成績との関連が明らかになれば、術後の予後予測などにとっても有用な検査になると考えます。

研究の目的：頸椎椎弓形成術後の超音波における脊髄の状況を評価し、超音波検査の有用性と経時的変化を調査し、また、術後臨床成績との関連性を調査することです。

研究の対象：当院で頸椎椎弓形成術を受けられた患者さん

研究の方法：頸椎椎弓形成術の術後に行ってきた超音波検査の結果を調査し、MRI検査との比較、臨床成績との関連性を評価します。

※ ご自身の既存試料・情報を研究に使用させて頂くことに対して同意頂けない場合は、下記の申し出先までご連絡ください(代諾者からの申し出も受付いたします)。申出された場合は、当該研究への利用はいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、データを研究結果から削除することができかねますので、予めご了承ください。

※ 対象者の方(代諾者)の申し出により、他の対象者の方の個人情報保護や当該臨床研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、当該臨床研究計画及び当該臨床研究の方法に関する資料を入手又は閲覧できます。

※ 本研究にて取得しました試料・情報は、当該研究に関わる者と個人情報の管理者(馬場 一郎)が利用いたします。

研究期間 : 2018年3月5日～2026年3月4日

個人情報の内容およびその利用目的、開示等の求めに応じる手続き : 被験者の個人情報の取り扱いについては、十分に注意を行い、論文投稿や学会発表等では、個人情報が特定されないようにします。また、当該被験者より個人情報の開示の求めがあった場合は、すみやかに開示を行います。

個人情報の取り扱いに関する相談窓口 : 整形外科学 羽山 祥生

利益相反について : 本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保、または確保していることを社会に適切に説明する必要があります。本研究は、本学の規程に基づき、研究者が大阪医科薬科大学利益相反委員会に必要事項を申請し利益相反についての審査を受けた上で、実施されております。

本研究の資金源は、整形外科学教室の講座研究費です。

研究者名：

研究責任者：整形外科学 助教 羽山 祥生

問い合わせ、参加拒否の申し出先：〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号

大阪医科薬科大学 整形外科学

担当：羽山 祥生

TEL 072-683-1221(代表) 内線 56570